

令和3年3月26日(金)

令和3年第1回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

会 議 録

岸和田市貝塚市清掃施設組合

令和3年第1回岸和田市貝塚市 清掃施設組合議会定例会議事日程

〔 令和3年3月26日（金） 〕
午後1時30分 開 議 〕

- | | | |
|-----|-------|-----------------------------------|
| 第 1 | | 会期決定について |
| 第 2 | 議案第1号 | 岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について |
| 第 3 | 議案第2号 | 令和2年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2号） |
| 第 4 | 議案第3号 | 令和3年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算 |
| 第 5 | 議案第4号 | 公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて |

出席議員（14名）

1番	井	舍	英	生	2番	宇	野	真	悟
3番	岡	林	憲	二	4番	烏	野	隆	生
5番	来	原	佳	一	6番	中	井	良	介
7番	西	田	武	史	8番	米	田	貴	志
9番	牛	尾	治	朗	10番	川	岸	貞	利
11番	北	尾	修		12番	中	山	敏	数
13番	真	利	一	朗	14番	藪	内	留	治

欠席議員（なし）

出席議事説明員

管理者	永	野	耕	平	副管理者	藤	原	龍	男
事務局長	谷	藤	健		事務局次長	榎	崎	賀	代
総務課長	上	村	昌	生	環境技術課長	猪	口	昌	宏
基幹整備担当参事	太	田	健	一					

午後 1 時50分開会

○真利一朗議長

ただいまから令和 3 年第 1 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を事務局から報告させます。

○事務局

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は14名でございます。

以上で報告を終わります。

○真利一朗議長

ただいまの報告のとおり、出席議員14名をもちまして会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

次に、本日の会議録署名者は、施設組合議会会議規則第101条の規定により、私から、8 番米田貴志議員、9 番牛尾治朗議員を指名いたします。

次に、本定例会における議事説明員は、お手元までご配付しておりますとおりでありますので、報告いたします。

次に、令和 2 年 9 月分から令和 3 年 1 月分までの 5 か月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりであります。

本各件について質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ないようですので、本報告を終わります。

これより日程に入ります。

日程第 1、会期決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の 1 日といたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は 1 日に決定いたしました。

次に、日程第 2、議案第 1 号岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結に

ついてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第 1 号岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について、提案理由のご説明を申し上げます。

本件は、岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事を実施しようとするものであり、総合評価落札方式一般競争入札により業者選定を実施した結果、ヒデイ建設特定建設工事共同企業体が 7 億 3,700 万円で落札いたしましたので、同社と工事請負契約を締結しようとするものであります。

何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては事務局長に説明させていただきますので、よろしくお願いたします。

○真利一朗議長

次に、補足説明を求めます。谷藤事務局長。

○谷藤 健事務局長

それでは、議案第 1 号岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の概要について、ご説明させていただきます。

今回の工事は、長寿命化総合計画に基づき、臨海部に位置していることから強風や塩害により劣化の激しい建屋外壁等の大規模改修を行うもので、業者選定に当たりましては、大規模改修工事業者選定委員会を設置し、総合評価落札方式一般競争入札を行いました。

当初、3 者から参加申込みがありまして、一次審査では 3 者とも参加資格を満たしておりましたが、2 者から辞退届の提出がございました。その後、二次審査として、大規模改修工事業者選定委員会において技術提案者からのプレゼンテーション、ヒアリングを実施いたしまして、そのヒアリング結果及び評価基準書による技術評価点の評価を行った後、入札による価格評価を実施いたしました。その結果、7 億 3,700 万円でヒデイ建設特定建設工事共同企業体が落札者となり、同社と工

事請負契約を締結しようとするものであります。

以上が工事請負契約に至る説明でございます。
何とぞよろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。川岸議員。

○10番 川岸貞利議員

何点かお伺いします。まず、選定委員会の構成メンバーについて教えていただけますか。以前、選定委員会は学識経験者が2名以上となっていました。構成メンバーを教えてください。

○真利一朗議長

太田基幹整備担当参事。

○太田健一基幹整備担当参事

構成メンバーにつきましては、学識経験者2名、あと岸和田市建設部長、貝塚市都市整備部長、岸和田市貝塚市清掃施設組合事務局長、岸和田市貝塚市清掃施設組合事務局長の6名となっております。

○真利一朗議長

川岸議員。

○10番 川岸貞利議員

次に、一次審査のときは3者あり、2者が辞退とのことですが、当然ながら、ホームページで全部公開していただいています。この2者が辞退した理由というのは何でしょうか。教えてください。

○真利一朗議長

太田参事。

○太田健一基幹整備担当参事

2者の辞退理由については、主に現場代理人等の技術者が不足しているということが、2者ともに説明内容でした。

以上です。

○真利一朗議長

川岸議員。

○10番 川岸貞利議員

そうしますと、もともとの基準書で、技術者は何名以上でしょうか。額によって人数も違ってくると思うのですが、基準では何名以上で、その2

者から何名出たのか教えていただけますか。

○真利一朗議長

太田参事。

○太田健一基幹整備担当参事

基準では、監理技術者資格を持ったものが1名となっております。

○真利一朗議長

川岸議員。

○10番 川岸貞利議員

あと確認なのですが、例えば業者から見て、選定委員会のうち学識経験者の氏名とか、あるいはどの業者から申し込んだのか一切非公開というふうに私は思っているのですが、その辺りはいかがでしょうか。

○真利一朗議長

太田参事。

○太田健一基幹整備担当参事

川岸議員のおっしゃるとおり、構成委員については非公開とし、業者同士の顔合わせ等も行われないように配慮して、事務を進めてまいりました。

○真利一朗議長

川岸議員。

○10番 川岸貞利議員

分かりました。あと、これから述べるのは私の意見です。最近、業者の選定委員会やそのメンバー構成についてですが、メンバーの半数以上が学識経験者や外部の委員から構成される傾向にあります。これはやはり公平、公正、透明性の観点によるものだと思いますので、今後こうした機会があれば、それも1つ検討していただきたいという意見を述べさせていただきます。

○真利一朗議長

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

質疑が終わったものと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

討論なしと認めます。

これより議案第1号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しまして
ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案の
とおり可決されました。

次に、日程第3、議案第2号令和2年度岸和田
市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2
号）を議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野
耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第2号令和2年度岸和田市
貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）
につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

今回の補正予算につきましては、歳出の補正は
ございませんが、歳入につきまして、第6款第1
項組合債第1目清掃施設整備事業債において、ご
み処理施設増設事業債が、びん・缶投入コンベア
チェーン取換工事や不燃性粗大ごみ破碎機炎検知
装置設置の追加工事等で510万円増額となりました
ので、第1款第1項分担金を同額の510万円減
額しようとするものであります。

また、併せて補正予算書第2表のとおり、地方
債の限度額を同額増額するものです。

以上のとおりでありますので、何とぞよろしく
ご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げ
ます。

○真利一朗議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入り
ます。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

討論なしと認めます。

これより議案第2号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しまして
ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案の
とおり可決されました。

次に、日程第4、議案第3号令和3年度岸和田
市貝塚市清掃施設組合一般会計予算を議題といた
します。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野
耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第3号令和3年度岸和田市
貝塚市清掃施設組合一般会計予算につきまして、
提案理由をご説明申し上げます。

本組合の令和3年度歳入歳出予算の総額は、歳
入歳出それぞれ39億5,120万4千円で、前年度に
比べて16.4%、7億7,391万6千円の減額計上で
あります。

予算の内容につきまして、まず、歳出から科目
別にご説明申し上げます。

第1款議会費は、議会運営に要する諸経費であ
り、365万3千円の計上で、前年度に比べて1千
円の増額であります。

次に、第2款総務費は、組合の運営及び施設の
維持管理並びに施設整備等に要する経費であり、
34億3,737万5千円の計上で、前年度に比べて
9.4%、3億5,742万8千円の減額であります。

次に、第1項総務費のうち総務管理費は、予算
の性質別に整理を行い、これまでの一般管理費と
総務管理費を統合いたしました。予算額は2億
2,424万4千円の計上で、前年度の一般管理費と
総務管理費の合計に比べて2.7%、579万9千円の
増額であります。

次に、公平委員会費は、7万3千円の計上であ
ります。

次に、監査委員費は、15万4千円の計上で、前

年度に比べて28.7%、6万2千円の減額であります。

次に、第2項施設費の施設管理費は、32億1,290万4千円の計上で、前年度に比べて10.2%、3億6,316万5千円の減額であります。減額の主なものは、基幹的設備改良事業費であります。

次に、第3款公債費は5億717万6千円の計上で、前年度に比べて45.1%、4億1,648万9千円の減額であります。

次に、歳入につきましてご説明申し上げます。

分担金で23億2,780万7千円、使用料及び手数料で3億5,725万円、国庫支出金で1億9,555万5千円、繰越金で1千円、諸収入で3億149万1千円、組合債で7億6,910万円でありまして、これら財源をもって本組合に係る経費に充当しようとするものであります。

以上、提案理由をご説明申し上げましたが、何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、事務局長に説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

次に、補足説明を求めます。谷藤事務局長。

○谷藤 健事務局長

それでは、令和3年度一般会計予算につきまして、詳細のご説明を申し上げます。

まず歳出からご説明いたします。

予算書16、17ページをお願いいたします。

第1款第1項第1目議会費に365万3千円の計上で、前年度に比べ1千円の増加でございます。

次に、第2款第1項総務費でございます。なお、総務費につきましては、先ほど管理者からも説明がありましたように、昨年度まで第1目一般管理費、第2目総務管理費、第3目公平委員会費、第4目監査委員会費としておりましたが、一般管理費と総務管理費を性質別に整理いたしまして、総務管理費としましては、第1目総務管理費、第2目公平委員会費、第3目監査委員費としております。そのため、前年度額につきましては、令和2

年度の一般管理費、総務管理費の合計額となっております。

それでは、まず第1目総務管理費に2億2,424万4千円の計上で、前年度に比べ2.6%、579万9千円の増加でございます。

詳細につきましては、右ページの事業別区分欄をご覧くださいませようをお願いいたします。

職員給与費2億188万1千円は、会計年度任用職員6名を含む施設組合職員27名分の人件費等でございます。

その下、総務管理事業1,476万1千円は、組合運営に要する事務経費でございます。

次に、18、19ページをお願いいたします。

右ページ、事業別区分欄中ほど、電算システム運用事業に618万円の計上で、87万1千円、16.4%の増加でございます。これは従来の電算システム保守委託料、賃借料に加えまして、作成が義務付けられております公会計財務諸表の作成、検証業務を追加したものでございます。

次に、リサイクル啓発事業に134万8千円の計上で、3Rふれあいフェア、3R啓発事業委託料など、展示、啓発事業の運営に必要な経費でございます。

次に、情報公開・個人情報保護事業に7万4千円の計上で、情報公開・個人情報審査会等の関係事務費でございます。

左ページ、18ページでございますが、下から2つ目、第2目公平委員会費は7万3千円の計上で、前年度と同額でございます。

その下、第3目監査委員費が15万4千円の計上で、前年度に比べ6万2千円の減少でございます。

次に、20、21ページをお願いいたします。

第2款第1項総務費の合計が2億2,447万1千円で、前年度に比べ2.6%、573万7千円の増加でございます。

次に、第2項施設費第1目施設管理費でございます。32億1,290万4千円の計上で、前年度に比べ10.2%、3億6,316万5千円の減少でございます。

それでは、右ページ、事業別区分欄に沿って、21ページからご説明申し上げます。

まず、事業別区分欄上から2つ目、施設管理運営事業12億65万3千円は、クリーンセンターの運転管理等に要する経費で、主なものは第10節需用費で、焼却プラント関係の薬品等の消耗品に1億6,894万7千円、電気、下水道等の光熱水費に7,123万7千円、第12節委託料で、工場の運転管理や焼却灰の処分等の施設維持業務委託料に8億7,935万4千円でございます。

次の大阪湾圏域広域処理場整備事業644万6千円は、大阪湾広域廃棄物処理埋立処分場建設委託料でございます。

次のクリーンセンター維持補修事業13億9,994万8千円は、定期点検整備工事などの施設維持に要する経費で、主なものは、施設全般に係る定期点検整備等の工事請負費、災害廃棄物仮置場として、また平常時には一般搬入車両の待機場所として使用するための広場の一部改良工事費が4,420万円、令和2年度から4年間の継続事業として取り組んでおりますクリーンセンター大規模改修工事の焼却棟建物改修事業費1億6,000万円を含む工事請負費が10億1,311万5千円、定期点検整備等の工事に伴う原材料費が2億4,289万7千円でございます。

次の基幹的設備改良事業は、令和元年度から5年間の債務負担行為として取り組んでおります事業の3年度目で6億585万7千円でございます。

次に、22、23ページをお願いいたします。

第3款第1項公債費が償還金元金及び利息で5億717万6千円の計上で、前年度に比べ45.1%、4億1,648万9千円の減少でございます。令和2年度末現在の未償還残高31億2,094万6千円に対する償還元金及び利子で、前年度に比べ、第1目元金で4億776万9千円の減少、第2目利子で872万円の減少でございます。

なお、これらの償還につきましては、主にクリーンセンター建設当時のものでございまして、建設当初の起債につきましては、令和3年度をもつ

て完済予定でございます。

本予算に計上しております令和3年度借入れ予定の組合債7億6,910万円を含めまして、令和3年度末の未償還元金は約34億円となる予定で、令和4年度までは償還額が減少傾向となります。しかし、令和5年度以降は災害復旧債や、基幹的設備改良事業、大規模改修工事に対する起債の償還が始まることから、年次的に償還額が増加いたしまして、年間6億円から7億円程度の償還となる見込みでございます。

次に下段、第4款第1項第1目予備費は300万円で、前年度と同額でございます。

次に、歳入についてご説明申し上げます。

予算書12ページ、13ページにお戻り願います。

第1款第1項分担金第1目組合市分担金が23億2,780万7千円で、前年度と比べ10.5%、2億7,374万3千円の減少でございます。

両市の分担は、2割を均等割、8割を人口割によることが定められておりまして、この割合で算出した岸和田市の負担率が64.984%、貝塚市の負担率が35.016%でございます。

なお、本来ですと、令和2年に国勢調査が実施されておりますので、その速報値をもって算定するところでございますけれども、新型コロナウイルス感染症による影響もございまして、速報値の公表が令和3年6月に延びておりますので、今回の予算における人口割については、平成27年の国勢調査の結果で算定してございます。令和3年度中には令和2年国勢調査の基本集計が公表される予定でございますので、決算時にはその値で清算することを予定しております。

次に、第2款使用料及び手数料第1項使用料第1目総務使用料が172万1千円で、前年度と比べ6.1%、11万1千円の減少でございます。主なものは、組合所有土地使用料及び附属洗車場使用料でございます。

次に、第2款使用料及び手数料第2項手数料第1目焼却手数料は3億5,552万9千円で、前年度に比べ3.4%、1,240万1千円の減少でございます。

これは、事業系ごみ搬入量の減少傾向を見込んだものでございます。

次に、第3款第1項第1目ごみ処理施設基幹的設備改良事業費国庫補助金は1億9,555万5千円で、前年度に比べ19.3%、4,679万4千円の減少でございます。

次に、第4款第1項第1目繰越金は1千円で、前年度と同額でございます。

次に、第5款諸収入第1項第1目雑入が3億149万1千円で、前年度に比べ14.2%、3,743万3千円の増加でございます。電力売払収入の増加を見込んだものでございます。

次に、14、15ページをお願いいたします。

第6款第1項組合債第1目清掃施設整備事業債が7億6,910万円で、前年度に比べ38.1%、4億7,330万円の減少でございます。主にごみ処理施設増設事業、基幹的設備改良事業及びクリーンセンター大規模改修工事に係る起債でございます。

以上が歳入歳出の説明でございます。

続きまして、予算書2ページ、3ページにお戻り願います。

2ページ、3ページは、ただいまご説明いたしました歳入歳出予算の総括表でございます。

次に、4ページをお願いいたします。

こちらは債務負担行為でございます。クリーンセンター運転管理業務委託に関するもので、現在の第3次運転管理委託業務が令和3年度で終了することから、令和4年度から5年間の第4次運転管理委託を行おうとするもので、令和2年第1回議員協議会にお諮りした内容でございます。

その際にもご説明いたしましたが、現在施工しております基幹的設備改良工事が令和5年度終了予定でして、竣工分から順次引渡しを受けております。そこで、新旧設備の切替え、教育訓練などを行いながらの運転となりまして、契約不適合責任期間、つまり旧来の瑕疵担保期間とも重なってくることから、ごみ処理を安定的に進めながら施設の安全性を担保するため、現在の業務を支障なく継続している現運転管理委託業者と随意契約を

予定するものであります。

次の5ページは地方債でございます。清掃施設整備事業債として6億2,510万円、クリーンセンター大規模改修事業として1億4,400万円の限度額を定めようとするものでございます。

ただいまの事案も含め、継続費、債務負担行為及び地方債に関する調書並びに給与費明細書につきましては、24ページ以降に記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

説明は以上でございます。何とぞよろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

討論なしと認めます。

これより議案第3号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、日程第5、議案第4号公平委員会の委員選任につき同意を求めるについてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第4号公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて、提案理由をご説明申し上げます。

公平委員の清原泰司氏が本年3月31日をもって任期満了となりますので、その後任委員として同

氏を選任いたしたく、地方公務員法第9条の2第2項の規定に基づき、議会のご同意を賜りたくご提案申し上げる次第であります。

何とぞご同意賜りますようお願い申し上げます。

○真利一朗議長

この際、お諮りいたします。

本案は、質疑、討論を省略してご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、質疑、討論を省略することに決しました。

これより議案第4号を採決いたします。

本件は原案のとおり同意することに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり同意されました。

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件につきまして慎重にご審議賜り、厚く御礼申し上げます。

これをもちまして、令和3年第1回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

午後2時20分閉会

上記会議録の正確なるを証するため、ここに署名する。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議 長 真 利 一 朗	
同 議 員 米 田 貴 志	
同 議 員 牛 尾 治 朗	

令和3年第1回組合議会定例会議案

議案番号	件名
議案第1号	岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について
議案第2号	令和2年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算(第2号)
議案第3号	令和3年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算
議案第4号	公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて

岸和田市貝塚市清掃施設組合

議案第1号

岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について

岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事について、次のとおり請負契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

令和3年3月26日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者 永野 耕平

記

- 1 契約の目的 岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事
- 1 契約の方法 総合評価一般競争入札
- 1 契約金額 金737,000,000円
- 1 契約の相手方 ヒデイ建設特定建設工事共同企業体
代表者
岸和田市土生町7丁目13番8号
ヒデイ建設株式会社
代表取締役 堀田 英治

令和2年度 補正予算書

岸和田市貝塚市清掃施設組合

議案第2号

令和2年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）

令和2年度岸和田市貝塚市清掃施設組合の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の補正の款・項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第2条 地方債の変更は、「第2表地方債補正」による。

令和3年3月26日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者 永野 耕平

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算 補 正

歳 入

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補 正 額	計
1. 分担金		2,541,150	△5,100	2,536,050
	1. 分担金	2,541,150	△5,100	2,536,050
6. 組合債		1,307,800	5,100	1,312,900
	1. 組合債	1,307,800	5,100	1,312,900
歳 入 合 計		4,812,482	0	4,812,482

歳 出

(単位 千円)

款	項	補正前の額	補正額	計
2. 総務費		3,794,803	0	3,794,803
	2. 施設費	3,576,069	0	3,576,069
歳 出 合 計		4,812,482	0	4,812,482

第2表 地方債補正
(変更分)

起債の目的	補正前							補正後															
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法				備考	限度額	起債の方法	利率	償還の方法				備考							
				区分	償還期限	据置期間	償還方法					他	その	区分	償還期限		据置期間	償還方法	他	その			
清掃施設整備事業	千円 1,014,800		%以内		年以内	年以内			千円 1,019,900		%以内			年以内	年以内			令和2年11月5日提出議案第12号11月5日可決					

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括
歳入

(単位 千円)

款	補正前の額	補正額	計
1. 分担金	2,541,150	△5,100	2,536,050
6. 組合債	1,307,800	5,100	1,312,900
歳入合計	4,812,482	0	4,812,482

歳 出

(単位 千円)

款	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国府支出金	地方債	その他	
2. 総務費	3,794,803	0	3,794,803		5,100		△5,100
歳 出 合 計	4,812,482	0	4,812,482		5,100		△5,100

2 歳 入

(款) 1. 分担金

(項) 1. 分担金

目	補正前の額	補 正 額	計
1. 組合市分担金	2,541,150	△5,100	2,536,050
計	2,541,150	△5,100	2,536,050

(款) 6. 組合債

(項) 1. 組合債

目	補正前の額	補 正 額	計
1. 清掃施設整備事業債	1,302,800	5,100	1,307,900
計	1,307,800	5,100	1,312,900

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 組合市分担金	△5,100	岸和田市・貝塚市分担金
		平成27年10月1日国勢調査 283,605人
		岸和田市 194,911人 (68.73%)
		貝塚市 88,694人 (31.27%)
		$\Delta 5,100 \text{千円} \times 2/10 \times 1/2 = \Delta 510,000 \text{円 (A)}$
		$\Delta 5,100 \text{千円} \times 8/10 \times 68.73/100 = \Delta 2,804,184 \text{円 (イ)}$
		$\Delta 5,100 \text{千円} \times 8/10 \times 31.27/100 = \Delta 1,275,816 \text{円 (ロ)}$
		岸和田市分担金 (A+イ) = $\Delta 3,314,184 \text{円}$ (64.984%)
		貝塚市分担金 (A+ロ) = $\Delta 1,785,816 \text{円}$ (35.016%)

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 清掃施設整備事業債	5,100	ごみ処理施設増設事業債 23,100
		ごみ処理施設基幹的設備改良事業債 $\Delta 18,000$

3 歳 出

(款) 2. 総務費

(項) 2. 施設費

目	補正前の額	補 正 額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
1. 施設管理費	3,576,069	0	3,576,069		5,100		△5,100
計	3,576,069	0	3,576,069		5,100		△5,100

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額	事業別区分	内訳

地方債の前年度末における現在高及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

(単位：千円)

区分	前年度末現在高			当該年度中増減見込額						当該年度末現在高見込額				
	補正前 の額	補正額	補正後 の額	当該年度中起債見込額			当該年度中元金償還見込額			補正前 の額	補正額	補正後 の額		
				補正前 の額	補正額	補正後 の額	補正前 の額	補正額	補正後 の額					
1 普通債														
(3) ごみ処理施設 増設事業債	947,817	0	947,817	234,400	23,100	257,500	42,198	0	42,198	1,140,019	23,100	1,163,119		
(5) ごみ処理施設基幹 的設備改良事業債	25,200	0	25,200	775,900	△ 18,000	757,900	0	0	0	801,100	△ 18,000	783,100		
計	2,307,488	0	2,307,488	1,302,800	5,100	1,307,900	895,642	0	895,642	2,714,646	5,100	2,719,746		
合 計	2,703,688	0	2,703,688	1,307,800	5,100	1,312,900	895,642	0	895,642	3,115,846	5,100	3,120,946		

令和3年度 予 算 書

岸和田市貝塚市清掃施設組合

議案第 3 号

令和 3 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算

令和 3 年度岸和田市貝塚市清掃施設組合の一般会計の予算は、次に定めるところによる。
(歳入歳出予算)

第 1 条 歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 3,951,204 千円と定める。

2 歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第 1 表歳入歳出予算」による。
(債務負担行為)

第 2 条 地方自治法第 214 条の規定により債務を負担することができる事項、期限及び限度額は、「第 2 表債務負担行為」による。

(地方債)

第 3 条 地方自治法第 230 条第 1 項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第 3 表地方債」による。

(歳出予算の流用)

第 4 条 地方自治法第 220 条第 2 項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 各項に計上した給料、職員手当等及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

令和 3 年 3 月 26 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者 永野 耕平

第 1 表 歳 入 歳 出 予 算

歳 入

(単位 千円)

款	項	金 額
1. 分担金		2,327,807
	1. 分担金	2,327,807
2. 使用料及び手数料		357,250
	1. 使用料	1,721
	2. 手数料	355,529
3. 国庫支出金		195,555
	1. 国庫補助金	195,555
4. 繰越金		1
	1. 繰越金	1
5. 諸収入		301,491
	1. 雑入	301,491
6. 組合債		769,100
	1. 組合債	769,100
歳 入 合 計		3,951,204

歳 出

(単位 千円)

款	項	金 額
1. 議会費		3,653
	1. 議会費	3,653
2. 総務費		3,437,375
	1. 総務費	224,471
	2. 施設費	3,212,904
3. 公債費		507,176
	1. 公債費	507,176
4. 予備費		3,000
	1. 予備費	3,000
歳 出	合 計	3,951,204

第2表 債務負担行為

事 項	期 間	限 度 額
岸和田市貝塚市クリーンセンター 運 転 管 理 業 務 委 託 料	令和3年度から 令和8年度まで	千円 3,540,339

第3表 地方債

起債の 目的	限度額	起債の方法	利率	償 還 の 方 法					備考
				区分	償還 期限	据置 期間	償還方法	その他	
清掃施設 整備事業	千円 625,100	普通貸借又は証 券発行ただし事 業の進捗状況に より起債額の全 部又は一部を起 債前借すること ができる。	10%以内 (ただし、利率見直し方 式で借り入れる政府資金 及び地方公共団体金融機 構資金について、利率の 見直しを行った後におい ては、当該見直し後の利 率)	政 府 銀 行 その他	20年 以内	3年 以内	年賦、半年 賦、元金均 等若しくは 元利均等償 還又は満期 一括償還	必要に応じ て繰上償還 又は借り換 えることが できる。	
クリーン センター 大規模改 修事業	144,000	普通貸借又は証 券発行ただし事 業の進捗状況に より起債額の全 部又は一部を起 債前借すること ができる。	10%以内 (ただし、利率見直し方 式で借り入れる政府資金 及び地方公共団体金融機 構資金について、利率の 見直しを行った後におい ては、当該見直し後の利 率)	政 府 銀 行 その他	30年 以内	5年 以内	年賦、半年 賦、元金均 等若しくは 元利均等償 還又は満期 一括償還	必要に応じ て繰上償還 又は借り換 えることが できる。	

予 算 に 関 す る 説 明 書

目 次

は し が き	-----	9
1 総 括	-----	10
2 歳 入	-----	12
3 歳 出	-----	16
0 1 議 会 費	-----	16
0 2 総 務 費	-----	16
0 3 公 債 費	-----	22
0 4 予 備 費	-----	22
継 続 費 調 書	-----	25
債 務 負 担 行 為 調 書	-----	26
地 方 債 調 書	-----	27
給 与 費 明 細 書	-----	28

は し が き

- 1 この予算に関する説明書は、地方自治法施行規則第 15 条の 2 による別記様式に基づき作成したものである。
- 2 この予算に関する説明書のうち、前年度予算額は令和2年度当初予算額である。
- 3 歳入歳出予算額は千円単位であるため、千円未満を切り上げ又は切り捨ての処置を行った。
- 4 人件費中職員手当及び共済費は、おおむね次により計算した。
 - (1) 地 域 手 当 本俸、扶養手当、管理職手当の 100 分の 6
 - (2) 期末及び勤勉手当 人事院勧告に基づく基本給月額 of 4.45 月分
 - (3) 職員共済組合負担金 標準報酬月額 of 1,000 分の 197.4633、追加費用 1 人年間(4月1日の本俸 12 か月分) 1,000 分の 19.9、事務費 1 人年間 10,860 円、特定健診 1 人年間 248 円及び6・12 月の期末勤勉手当 of 1,000 分の 197.4633

歳入歳出予算事項別明細書

1 総括 歳入

(単位 千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算 構成比(%)
1. 分担金	2,327,807	2,601,550	△273,743	58.9
2. 使用料及び手数料	357,250	369,762	△12,512	9.0
3. 国庫支出金	195,555	242,349	△46,794	5.0
4. 繰越金	1	1	0	0.0
5. 諸収入	301,491	264,058	37,433	7.6
6. 組合債	769,100	1,247,400	△478,300	19.5
歳入合計	3,951,204	4,725,120	△773,916	100.0

歳 出

(単位 千円)

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳				本年度 予算構 成比 (%)
				特 定 財 源			一 般 財 源	
				国府支出金	地方債	その他		
1. 議会費	3,653	3,652	1				3,653	0.1
2. 総務費	3,437,375	3,794,803	△357,428	195,555	769,100		2,472,720	87.0
3. 公債費	507,176	923,665	△416,489				507,176	12.8
4. 予備費	3,000	3,000	0				3,000	0.1
歳 出 合 計	3,951,204	4,725,120	△773,916	195,555	769,100		2,986,549	100.0

2 歳 入

(款) 1. 分担金

(項) 1. 分担金

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 組合市分担金	2,327,807	2,601,550	△273,743
計	2,327,807	2,601,550	△273,743

(款) 2. 使用料及び手数料

(項) 1. 使用料

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 総務使用料	1,721	1,832	△111
計	1,721	1,832	△111

(款) 2. 使用料及び手数料

(項) 2. 手数料

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 焼却手数料	355,529	367,930	△12,401
計	355,529	367,930	△12,401

(款) 3. 国庫支出金

(項) 1. 国庫補助金

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. ごみ処理施設基幹的設備改良事業費国庫補助金	195,555	242,349	△46,794
計	195,555	242,349	△46,794

(款) 4. 繰越金

(項) 1. 繰越金

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 繰越金	1	1	0
計	1	1	0

(款) 5. 諸収入

(項) 1. 雑入

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 雑入	301,491	264,058	37,433
計	301,491	264,058	37,433

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 組合市分担金	2,327,807	岸和田市・貝塚市分担金 平成27年10月1日国勢調査 283,605人 岸和田市 194,911人 (68.73%) 貝塚市 88,694人 (31.27%) $2,327,807千円 \times 2/10 \times 1/2 = 232,780,700円 (A)$ $2,327,807千円 \times 8/10 \times 68.73/100 = 1,279,921,401円 (イ)$ $2,327,807千円 \times 8/10 \times 31.27/100 = 582,324,199円 (ロ)$ 岸和田市分担金 (A+イ) = 1,512,702,000円 (64.984%) 貝塚市分担金 (A+ロ) = 815,105,000円 (35.016%)

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 土地使用料	539	電柱埋設地等使用料 539
2. 施設使用料	1,182	附属洗車場使用料 1,182

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 廃棄物手数料	355,529	廃棄物処分手数料 355,529

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. ごみ処理施設基幹的設備改良事業費補助金	195,555	ごみ処理施設基幹的設備改良事業費補助金 195,555

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 繰越金	1	前年度繰越金 1

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 雑入	301,491	金属類等売払収入 31,815 電力売払収入 255,116 その他雑収入 1,027 再商品合理化拠出金 13,533

(款) 6. 組合債

(項) 1. 組合債

目	本 年 度	前 年 度	比 較
1. 清掃施設整備事業債	769,100	1,242,400	△473,300
2. 廃棄物処理施設災害復旧事業債	0	5,000	△5,000
計	769,100	1,247,400	△478,300

(単位 千円)

節		説明
区分	金額	
1. 清掃施設整備事業債	769,100	大阪湾圏域広域処理場(フェニックス計画)整備委託事業債 5,800 ごみ処理施設増設事業債 253,100 ごみ処理施設基幹的設備改良事業債 366,200 クリーンセンター大規模改修事業債 144,000

3 歳 出

(款) 1. 議会費

(項) 1. 議会費

目	本 年 度	前 年 度	比 較	本 年 度 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国 府 支 出 金	地 方 債	そ の 他	
1. 議会費	3,653	3,652	1				3,653
計	3,653	3,652	1				3,653

(款) 2. 総務費

(項) 1. 総務費

1. 総務管理費	224,244	218,445	5,799				224,244
----------	---------	---------	-------	--	--	--	---------

(単位 千円)

節		説明	
区分	金額	事業別区分	内訳
1. 報酬	1,859	00000001	1 報酬 1,859
3. 職員手当等	764	議員報酬等	議員報酬 1,859
8. 旅費	640	(総務課)	3 職員手当等 764
9. 交際費	50		議員期末手当 764
10. 需用費	176		8 旅費 640
11. 役務費	159	00000002	費用弁償 560
17. 備品購入費	5	議会運営事業	普通旅費 80
		(総務課)	9 交際費 50
			交際費 50
			10 需用費 176
			消耗品費 30
			印刷製本費 146
			11 役務費 159
			筆耕翻訳料 159
			17 備品購入費 5
			図書購入費 5

(単位 千円)

1. 報酬	13,288	00000003	1 報酬 13,234
2. 給料	87,457	職員給与費	特別職報酬 300
3. 職員手当等	67,219	(総務課)	会計年度任用職員報酬 12,810
4. 共済費	33,947		会計年度任用職員超過勤務報酬 124
7. 報償費	8		2 給料 87,457
8. 旅費	1,735		一般職給 87,457
9. 交際費	20		3 職員手当等 67,219
10. 需用費	4,012		扶養手当 3,954
11. 役務費	6,748		管理職手当 5,136
12. 委託料	5,111		地域手当 5,882
13. 使用料及び賃借料	3,073		住居手当 3,024
15. 原材料費	40		超過勤務手当 3,112
17. 備品購入費	622		特殊勤務手当 158
18. 負担金補助及び交付金	964		通勤手当 3,317
			期末勤勉手当 37,984
			児童手当 1,860
			会計年度任用職員期末手当 2,792
			4 共済費 33,947
			健康保険組合負担金 766
			職員共済組合等負担金 32,420
			公務災害補償負担金 761
			18 負担金補助及び交付金 24
			負担金 24
		00000004	7 報償費 8
		総務管理事業	報償費 8
		(総務課)	8 旅費 1,715
			費用弁償 934
			普通旅費 781
			9 交際費 20
			交際費 20
			10 需用費 3,282

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
2. 公平委員会費	73	73	0				73
3. 監査委員費	154	216	△62				154

(単位 千円)

節		説 明	
区 分	金額	事業別区分	内 訳
			消耗品費 1,362 燃料費 362 印刷製本費 1,052 光熱水費 406 修繕料 100 11 役務費 6,748 通信運搬費 2,055 手数料 721 保険料 3,972 12 委託料 401 その他の委託料 401 13 使用料及び賃借料 1,045 その他の使用料及び賃借料 1,045 17 備品購入費 602 庁用器具費 562 図書購入費 40 18 負担金補助及び交付金 940 負担金 640 補助金 300
		00000010 電算システム運用事業 (総務課) 6,180	12 委託料 4,152 その他の委託料 4,152 13 使用料及び賃借料 2,028 その他の使用料及び賃借料 2,028
		00000008 リサイクル啓発事業 (総務課) 1,348	10 需用費 730 消耗品費 554 印刷製本費 171 修繕料 5 12 委託料 558 その他の委託料 558 15 原材料費 40 原材料費 40 17 備品購入費 20 図書購入費 20
		00000009 情報公開・個人情報保護事業 (総務課) 74	1 報酬 54 委員報酬 54 8 旅費 20 費用弁償 20
1. 報酬 8. 旅費	63 10	00000011 委員報酬 (総務課) 63	1 報酬 63 委員報酬 63
		00000012 公平委員会事業 (総務課) 10	8 旅費 10 費用弁償 10
1. 報酬 8. 旅費	144 10	00000013 委員報酬 (総務課) 144	1 報酬 144 委員報酬 144

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
計	224,471	218,734	5,737				224,471

(款) 2. 総務費

(項) 2. 施設費

1. 施設管理費	3,212,904	3,576,069	△363,165	195,555	769,100		2,248,249
計	3,212,904	3,576,069	△363,165	195,555	769,100		2,248,249

(単位 千円)

節		説 明	
区 分	金額	事業別区分	内 訳
		00000014 監査事業 (総務課)	8 旅費 10 費用弁償 10
		10	

(単位 千円)

7. 報償費	36	00000015	7 報償費 36
8. 旅費	20	施設管理運営事業 (環境技術課) 1,200,653	報償費 36
10. 需用費	407,134		8 旅費 20
11. 役務費	28,581		費用弁償 20
12. 委託料	901,681		10 需用費 263,198
13. 使用料及び賃借料	53		消耗品費 168,947
14. 工事請負費	1,608,976		燃料費 22,936
15. 原材料費	258,820		印刷製本費 78
17. 備品購入費	7,193		光熱水費 71,237
18. 負担金補助及び交付金	100		11 役務費 28,581
26. 公課費	310		通信運搬費 27,349
			手数料 1,196
			保険料 36
			12 委託料 885,239
			その他の委託料 5,885
			施設維持業務委託料 879,354
			13 使用料及び賃借料 53
			その他の使用料及び賃借料 53
			15 原材料費 15,923
			原材料費 15,923
		17 備品購入費 7,193	
		庁用器具費 600	
		機械器具費 6,543	
		図書購入費 50	
		18 負担金補助及び交付金 100	
		負担金 100	
		26 公課費 310	
		公課費 310	
		00000016	12 委託料 6,446
		大阪湾圏域広域処理場整備事業 (環境技術課)	その他の委託料 6,446
		6,446	
		00000017	10 需用費 143,936
		クリーンセンター維持補修事業 (環境技術課)	修繕料 143,936
		1,399,948	14 工事請負費 1,013,115
			工事費 1,013,115
			15 原材料費 242,897
			原材料費 242,897
		00000019	12 委託料 9,996
		基幹的設備改良事業 (環境技術課)	その他の委託料 9,996
		605,857	14 工事請負費 595,861
			工事費 595,861

(款) 3. 公債費

(項) 1. 公債費

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
1. 元金	487,874	895,643	△407,769				487,874
2. 利子	19,302	28,022	△8,720				19,302
計	507,176	923,665	△416,489				507,176

(款) 4. 予備費

(項) 1. 予備費

1. 予備費	3,000	3,000	0				3,000
計	3,000	3,000	0				3,000

(単位 千円)

節		説 明	
区 分	金額	事 業 別 区 分	内 訳
22. 償還金利子及び割引料	487,874	00000022 長期債元金償還事業 (総務課) 487,874	22 償還金利子及び割引料 487,874 償還金 487,874
22. 償還金利子及び割引料	19,302	00000023 長期債利子償還事業 (総務課) 19,302	22 償還金利子及び割引料 19,302 利子及び割引料 19,302

(単位 千円)

29. 予備費	3,000	00000024 予備費 (総務課) 3,000	29 予備費 3,000 予備費 3,000

- 1) 継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の執行状況等に関する調書
- 2) 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書
- 3) 地方債の前前年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書
- 4) 給与費明細書

1) 継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

款	項	事業名	全体計画							前前年度末までの支出額	前年度末までの支出額	当該年度支出予定額	当該年度末までの支出予定額	翌年度以降の支出予定額	年度支出額	継続費の総額に対する進捗率
			年割額	左の財源内訳				一般財源								
				国庫支出金	府支出金	地方債	その他									
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
			320,000		288,000			32,000				320,000				40.00
			160,000		144,000			16,000			160,000	160,000				20.00
			160,000		144,000			16,000						160,000		20.00
			160,000		144,000			16,000						160,000		20.00
			800,000		720,000			80,000		0	160,000	480,000	320,000	320,000		100.00

2) 債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調査

事項	限度額	前年度末までの支出額(見込)額		当該年度支出額		以降の金額		左の財源内訳								
		期間	金額	期間	金額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	特定財源		一般財源				
										千円	千円		千円	千円	千円	千円
岸和田市貝塚市クリーンセンター運転管理業務委託料	3,540,339		千円		千円		千円		千円		千円		千円		千円	
				令和3年度	0									0		
				令和4年度	653,643										653,643	
				令和5年度	679,788										679,788	
				令和6年度	706,980										706,980	
岸和田市貝塚市クリーンセンター基幹的設備改良工事	4,062,000															
				令和7年度	735,259									735,259		
				令和8年度	764,669									764,669		
				令和3年度	605,857			195,555		366,200				44,102		
				令和4年度	890,361			288,146		538,000				64,215		
		令和2年度	1,180,004			306,934		593,500				75,245				

3) 地方債の前前年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

区分	前前年度末現在高 千円	前年度末 現在高見込額 千円	当該年度中増減見込額		当該年度末現在高 見込額 千円
			当該年度見込額 当起債見込額 千円	当該年度中 当元金償還見込額 千円	
1 普通債					
(1) 最終処分地施設整備事業債	77,545	74,422	5,800	7,946	72,276
(2) ごみ処理施設建設事業債	1,251,101	407,630	0	407,630	0
(3) ごみ処理施設増設事業債	947,817	1,163,119	253,100	69,947	1,346,272
(4) ごみ収集車等購入事業債	5,825	3,475	0	2,350	1,125
(5) ごみ処理施設基幹的設備 改良事業債	25,200	783,100	366,200	0	1,149,300
(6) リーセンスセンター 大規模改修事業債	0	288,000	144,000	0	432,000
計	2,307,488	2,719,746	769,100	487,873	3,000,973
2 災害復旧債					
(1) 廃棄物処理施設 災害復旧事業債	396,200	401,200	0	0	401,200
計	396,200	401,200	0	0	401,200
合計	2,703,688	3,120,946	769,100	487,873	3,402,173

4) 給与費明細書

1 特別職

区分	職員数	給与				費計	合計	備考
		報酬	給料	職員手当	共済費			
	人	千円	千円	千円	千円	千円		
本年度	長等	2	300	0	300	300		
	議員	14	1,859	764	2,623	2,623		
	その他	22	261	0	261	261		
	計	38	2,420	764	3,184	3,184		
前年度	長等	2	300	0	300	300		
	議員	14	1,859	773	2,632	2,632		
	その他	22	261	0	261	261		
	計	38	2,420	773	3,193	3,193		
比較	長等	0	0	0	0	0		
	議員	0	0	△9	△9	△9		
	その他	0	0	0	0	0		
	計	0	0	△9	△9	△9		

2 一 般 職

(1) 総 括

区 分	職 員 数		給 与			合 計	備 考
	職 員	会 計 年 度 任 用 職 員	報 酬	給 料	職 員 手 当		
本 年 度	21	人 (6)	12,934	87,457	67,219	千円 201,557	
前 年 度	20	(5)	11,681	87,325	65,099	33,804	
比 較	1	(1)	1,253	132	2,120	143	

()内はパートタイム会計年度任用職員

職 員 手 当 の 内 訳	区 分		扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当	超 過 勤 務 手 当	特 殊 勤 務 手 当	通 勤 手 当	期 末 勤 勉 手 当	兄 子 手 当	重 等 手 当	会 任 期 未 用 職 員 手 当
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
本 年 度	3,954	5,136	5,882	3,024	3,112	158	3,317	37,984	1,860	2,792			
前 年 度	4,278	4,680	5,867	2,298	3,463	135	2,614	37,434	1,870	2,460			
比 較	△ 324	456	15	726	△ 351	23	703	550	△ 10	332			

2 一 般 職

ア 会計年度任用職員以外の職員

区 分	職員数	給 与			費		合 計	備 考
		報 酬	給 料	職 員 手 当	計	共 済 費		
本 年 度	21	0	87,457	64,427	151,884	31,940	183,824	
前 年 度	20	0	87,325	62,639	149,964	31,496	181,460	
比 較	1	0	132	1,788	1,920	444	2,364	

()内はパートタイム会計年度任用職員

職 員 手 当 の 内 訳	区 分		扶 養 手 当	管 理 職 手 当	地 域 手 当	住 居 手 当	超 過 勤 務 当	特 殊 勤 務 当	通 勤 手 当	期 末 勤 勉 当	兄 手 当	董 等
	本 年 度	前 年 度	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
	3,954	4,278	5,136	4,680	5,882	3,024	3,112	158	3,317	37,984	1,860	
			4,680	4,680	5,867	2,298	3,463	135	2,614	37,434	1,870	
比 較	△ 324		456		15	726	△ 351	23	703	550	△ 10	

2 一 般 職

イ 会計年度任用職員

区 分	職員数 会計年度任用職員 人	給 与			合 計	備 考
		報 酬 千円	給 料 千円	職 員 手 当 千円		
本 年 度	(6)	12,934	0	2,792	17,733 千円	
前 年 度	(5)	11,681	0	2,460	16,449	
比 較	(1)	1,253	0	332	△ 301	
					15,726 千円	
					14,141	
					1,585	

()内はパートタイム会計年度任用職員

職 員 手 当 の 内 訳	期 手	末 当 千円
	本 年 度	
前 年 度		2,460
比 較		332

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区分	増減額	増減額の増減事由別内訳	説明	備考
報酬	1,253	1 昇給に伴う増加分	千円 1,253	
給料	132	1 昇給に伴う増加分	2,029	平均昇給率 2.50% 昇給に係る職員数 〔本年度 21人 前年度 20人 増減 0人〕
職員手当	2,120	1 地域手当の増減分	△ 1,897	職員数の異動状況 〔現に在籍する職員数〕 〔本年度 21人 前年度 20人 増減 0人〕 〔その他〕 〔計〕 21人 20人 0人
				地域手当の支給率 〔支給対象地域 全地域 支給率 6% 支給対象職員数 21人〕 〔本年度 前年度 支給率 6% 支給対象地域 全地域 支給率 6% 支給対象職員数 20人〕 国の指定基準に基づく支給率 6%

2-1 一般職

区分	増減額	増減額の増減事由別内訳	説明	明	備考
	千円			千円	
		2 期末勤勉手当の増減分		550	期末勤勉手当の支給率 本年度 支給期 6月 12月 (1.175) (1.175) 計 支給率(月) 2.225 2.225 4.45 前年度 支給期 6月 12月 (1.175) (1.175) 計 支給率(月) 2.25 2.25 4.5 国の制度 支給期 6月 12月 (1.175) (1.175) 計 支給率(月) 2.225 2.225 4.45 ()内は再任用職員
		3 その他の増減分	扶養手当 △ 324 管理職手当 456 住居手当 726 超過勤務手当 △ 351 特殊勤務手当 23 通勤手当 703 児童手当 △ 10 会計年度任用職員期末手当 332		

(3) 給料及び職員手当の状況

ア 職員1人当たり給料

区	区分	一般行政職	
		平均給料月額	円
令和3年 1月1日現在	平均年齢	44 - 7	歳
	平均給料月額	328,472	円
令和2年 1月1日現在	平均年齢	43 - 10	歳

イ 初任給

区	区分	学歴	一般行政職
岸和田市貝塚市 清掃施設組合	大学卒	大学卒	円 190,400
	高校卒	高校卒	161,600
国の制度	大学卒	大学卒	182,200
	高校卒	高校卒	150,600

ウ 等級別職員数

区分	一般行政職 (貝塚市派遣職員以外)			一般行政職 (貝塚市派遣職員)		
	等級	職員数 人	構成比 %	級	職員数 人	構成比 %
本年度	1等級	1	5.9	1級	1	25.0
	2等級	3	17.6	2級	0	0.0
	3等級	2	11.8	3級	1	25.0
	4等級	2	11.8	4級	0	0.0
	5等級	5	29.4	5級	0	0.0
	6等級	2	11.8	6級	2	50.0
	7等級	2	11.8	7級	0	0.0
	8等級	0	0.0	8級	0	0.0
	計	17	100	計	4	100
前年度	1等級	1	6.3	1級	1	25.0
	2等級	3	18.8	2級	0	0.0
	3等級	1	6.3	3級	1	25.0
	4等級	1	6.3	4級	0	0.0
	5等級	4	25.0	5級	1	25.0
	6等級	3	18.8	6級	1	25.0
	7等級	3	18.8	7級	0	0.0
	8等級	0	0.0	8級	0	0.0
	計	16	100	計	4	100

(等級別の標準的な職務内容:貝塚市派遣職員以外)

区分	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	7等級	8等級
標準的な職務内容	部長級	課長級	主幹級	係長級	主査	主任		一般職員

(級別の標準的な職務内容:貝塚市派遣職員)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	部長・参与	理事	課長・参事	課長補佐・主幹	係長・主査・主任	副主査・副主任		一般職員

エ 定年退職及び勸奨退職に係る退職手当

区分	20年勤続の者 月分	25年勤続の者 月分	35年勤続の者 月分	最高限度 月分	その他の加算措置等	備考
支給率等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (2%~45%加算)	
国の制度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特例措置 (2%~45%加算)	

オ 特殊勤務手当

区分	分	全	職	種
給料総額に 対する比率		0.10		%
特殊勤務 手当の名称		ごみ焼却	業務	

カ その他の手当

区分	内	容	国の制度との異	国の制度と異なる内容
扶養手当	職員以外派遣 配偶者 配偶者(一般行政職の職員でその職務の等級が1等級のもの) 子 10,000円 父母等 6,500円 父母等(一般行政職の職員でその職務の等級が1等級のもの) 3,500円 子のうち16歳～22歳の者につき 5,000円 加算	同 じ	同 じ	
	職員以外派遣 配偶者 配偶者(一般行政職の職員でその職務の級が1級及び2級のもの) 子 10,000円 父母等 6,500円 父母等(一般行政職の職員でその職務の級が1級及び2級のもの) 3,500円 子のうち16歳～22歳の者につき 5,000円 加算			
住居手当	契約者本人で家賃支払い者(限度額28,000円)	同 じ		
通勤手当	交通機関利用者 実費(6箇月定期券相当額)を支給 交通用具使用者 通勤距離・使用用具に応じて支給	同 じ		

議案第 4 号

公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて

公平委員会の委員に次の者を選任したいので、地方公務員法
第 9 条の 2 第 2 項の規定により議会の同意を求める。

令和 3 年 3 月 26 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管 理 者 永 野 耕 平

記

- | | | |
|---|------|------------------|
| 1 | 住 所 | 貝塚市麻生中 822 番地の 8 |
| 1 | 氏 名 | 清原 泰司 |
| 1 | 生年月日 | 昭和 25 年 5 月 16 日 |

